

平成 2 6 年度公共事業の評価に関する意見書

平成 2 6 年 1 2 月 9 日

京都市公共事業評価委員会

平成26年12月9日

京都市長 門川 大作 様

京都市公共事業評価委員会

委員長 小林 潔司

平成26年度公共事業の評価に関する意見について

京都市公共事業評価委員会（以下「本委員会」という。）は、京都市が実施する公共事業の評価について、客観性及び透明性を確保するため、意見を述べる第三者機関として、平成10年12月25日に設置された。本委員会は、平成10年度から25年度までの間に176事業に対して審議を行い、意見を述べた。本年度は、平成26年10月28日までに、再評価の対象となった4事業を中心に、計3回の審議を行った。審議の結果、本委員会の意見を、下記のとおり取りまとめたので提出する。

今後、京都市においては、本委員会の意見を参考として評価を進めるとともに、公共事業の推進に当たっては、関係者の合意形成及び効率性並びに実施過程の透明性の向上に一層努めるよう求めるものである。

記

1 本委員会における審議経過

本年度、再評価の対象となった4事業（別紙1）は、平成21年度に再評価を行い、本委員会において「事業継続」は妥当であると判断した事業であるが、再評価の実施後5年間を経過した本年度も、事業が継続していることから再々評価を行った。

本委員会は、京都市から各事業の内容と対応方針（案）の説明を受け、その妥当性について詳細に審議を行い、その結果を取りまとめた。

なお、平成20年度から平成24年度までに再評価を行い、現在も継続している32事業（別紙2）について、平成25年度までの進ちょく状況の報告を受け、そのうち進ちょく率が90%を上回る事業等を除いた17事業を抽出し、事業進ちょくの確認を行った。

2 全体についての意見

再評価の対象となった4事業については、京都市の対応方針（案）に基づき、事業を継続することが妥当であると判断した。いずれの事業も、市民生活の向上や安全性の確保の上から、早期の完成が望まれる。

3 個別事業に対する意見

<再評価>

（1）道路事業 一般国道162号（川東拡幅）

本事業は、右京区京北と京都市街を結ぶアクセス道路として重要な路線である一般国道162号において、災害防除が必要な区間や見通しの悪い区間を回避するため、橋梁及びトンネルの新設によるバイパス構造とすることで、安全で円滑な道路交通を確保するものである。

本事業は、「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画<改革編>における道路整備事業の見直しに基づき、平成27年度までの4年間については、原則、事業進ちょくを見送る路線であるが、未完成の第2工区には、災害防除が必要な区間や見通しの悪い区間が残されている。緊急輸送道路にも指定されている本路線の防災機能の強化と交通安全面の向上を図るため、既に供用を開始している第1工区に引き続き、第2工区の整備も進めていく必要があることから、「事業継続」という京都市の対応方針（案）は妥当であると判断した。

（2）道路事業 一般国道477号（大布施拡幅）

本事業は、緊急輸送道路に指定されている一般国道162号と367号を東西に結ぶ重要な路線である一般国道477号において、幅員が狭い箇所や見通しの悪い箇所を解消するため、橋梁及びトンネルを新設することにより、安全で円滑な道路交通を確保するものである。

本事業は、「はばたけ未来へ！京プラン」実施計画<改革編>における道路整備事業の見直しに基づき、平成27年度までの4年間については、原則、事業進ちょくを見送る路線であるが、緊急輸送道路の一般国道162号と367号を東西に結ぶ重要な路線として、防災機能の強化と冬季の積雪時や路面凍結時における交通安全面の向上が必要な路線である。第2工区の一部が未完成であるが、用地買収率は約95%に達するなど、事業効果の早期発現も可能であることから、

「事業継続」という京都市の対応方針（案）は妥当であると判断した。

（３）河川事業 旧安祥寺川

本事業は、旧安祥寺川におけるＪＲ東海道本線横断部の既存水路トンネルの流下能力が低いため、^{しょう}捷水路（ショートカット水路）を新設することで、流下能力の拡大を図るものである。また、新設する捷水路と準用河川岡川を合流させることで、合流点付近の浸水対策にも寄与するものである。

本河川の流域では、宅地化の進行に伴って雨水流出量が増加しており、集中豪雨等による浸水被害が発生しているため、河川改修による治水効果を早期に発現させる必要があることから「事業継続」という京都市の対応方針（案）は妥当であると判断した。

（４）河川事業 新川

本事業は、流域の宅地化の進行に伴う保水及び遊水機能の低下により、雨水の流出量が増大している新川において、河川の断面を拡大する改修を行うことで、浸水被害の防除を図るものである。

本河川の未改修区間である上流部では、浸水被害の防除をより一層推進するため、下水道雨水幹線の整備も進められており、平成２８年度の接続に向け、本河川の改修を着実に進めていく必要があることから「事業継続」という京都市の対応方針（案）は妥当であると判断した。

平成 26 年度 再 評 価 対 象 事 業 一 覧

再評価対象事業の該当条件

- ①事業採択後 5 年間を経過した時点で未着工の事業
 ②事業採択後 10 年間（廃棄物処理施設整備事業については 5 年間）を経過した時点で継続中の事業
 ③再評価の実施後 5 年間を経過した時点で継続中の事業
 ④事業休止している事業の内、事業再開又は事業中止しようとする事業
 ⑤社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価を実施することが必要であると認められる事業

種別	番号	事業名	事業概要	採択年度	該当条件	経過年数	事業進捗率 ※	審議結果
道路事業	1	一般国道 162 号 (川東拡幅)	延長 L=2,150m 幅員 W=7.5~9.0m	H12	③	15	45.1	「事業継続」 は妥当である。
	2	一般国道 477 号 (大布施拡幅)	延長 L=2,195m 幅員 W=9.0m	H2	③	25	67.3	「事業継続」 は妥当である。
河川事業	3	旧安祥寺川	延長 L=400m 幅員 W=2.7~4.7m	H2	③	25	54.2	「事業継続」 は妥当である。
	4	新 川	延長 L=890m 幅員 W=6m	H7	③	20	69.3	「事業継続」 は妥当である。

※ 事業進捗率は全体事業費に対する平成 25 年度末までの事業費の割合を示す。

(別紙 2)

平成 26 年度 フォローアップ対象事業一覧表

再 評 価 実施年度	種 別	番号	事 業 名	備 考
平成 24 年度	街 路 事 業	1	伏見向日町線	
		2	中山石見線	抽出※
		3	御陵六地藏線（第三工区）	
	河 川 事 業	4	西野山川	抽出※
		5	西高瀬川（有栖川工区）	抽出※
		6	善峰川	抽出※
	都市公園事業	7	宝が池公園（広域）	抽出※
	土地区画整理事業	8	洛北第三地区	
	住宅市街地総合整備事業	9	東九条地区	抽出※
平成 23 年度	街 路 事 業	1	西小路通	
		2	I・Ⅲ・25 鴨川東岸線（第二工区）	抽出※
	道 路 事 業	3	一般国道 162 号（栗尾バイパス）	
		4	城南宮道	抽出※
	河 川 事 業	5	七瀬川	
	住宅地区改良事業	6	三条鴨東地区	抽出※
平成 22 年度	街 路 事 業	1	深草疏水通	
		2	山陰街道	
		3	向日町上鳥羽線（第二工区）	
	道 路 事 業	4	小川通（小川工区）	
	土地区画整理事業	6	上鳥羽南部地区	
		8	伏見西部第五地区	抽出※
平成 21 年度	街 路 事 業	1	向日町上鳥羽線（第一工区）	
	道 路 事 業	7	（主）大山崎大枝線（沓掛工区）	
	土地区画整理事業	10	洛北第二地区	

平成 20 年度	下 水 道 事 業	1 1	下水高度処理施設整備事業 鳥羽処理区	抽出※
		1 2	下水高度処理施設整備事業 吉祥院処理区	抽出※
		1 3	下水高度処理施設整備事業 伏見処理区	抽出※
		1 4	下水高度処理施設整備事業 山科処理区	抽出※
		1 5	浸水対策事業 新川排水区	抽出※
		1 6	浸水対策事業 西羽束師川第 2 排水区	抽出※
		1 7	下水道改善対策事業 東山地域合流式	
		1 8	下水道改善対策事業 伏見大手筋地域合流式	抽出※

※抽出とはフォローアップ対象事業のうち、第 1 回京都市公共事業評価委員会で報告した事業を示す。

参 考 資 料

- 1 京都市公共事業評価委員会委員名簿
- 2 京都市公共事業評価委員会審議日程

1 京都市公共事業評価委員会委員名簿

(敬称略, 五十音順)

副委員長	荒川 朱美	京都造形芸術大学教授
	大山 理	大阪工業大学工学部准教授
	葛城 万寿子	京都商工会議所女性会副会長
	川浦 昭彦	同志社大学大学院教授
	桑原 毅	京都新聞社論説委員
委員長	小林 潔司	京都大学経営管理大学院教授
	徳久 恭子	立命館大学法学部教授
	中川 恵美子	京都市地域女性連合会副会長

2 京都市公共事業評価委員会審議日程

区 分	開 催 年 月 日	内 容
第 1 回	平成 26 年 7 月 1 日	・ 平成 26 年度フォローアップ対象事業の報告聴取
第 2 回	平成 26 年 9 月 3 日	・ 平成 26 年度再評価対象事業の 事業概要及び対応方針（案）の審議
第 3 回	平成 26 年 10 月 28 日	・ 平成 26 年度公共事業の評価に関する 意見書の取りまとめ